

事務事業評価シート

事務事業コード	001000	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後子ども教室推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の達成	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	放課後子ども教室推進事業費(学校教育課)			予算事業コード	01-09-04-02-17-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	小学校区において放課後や週末等に、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動・体験活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境作りを推進する。
手段 (どうするのか)	小学校の空き教室や小学校近隣の公共施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て子ども教室を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	平成29年度 ①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	平成30年度 ①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	令和元年度 ①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	令和2年度 ①放課後子ども教室の設置 ②放課後児童クラブとの連携	
	年度別実績	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・久松小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(米里小・久松小)	①放課後子ども教室の設置(明治小・神戸小・東郷小・久松小・米里小) ②放課後児童クラブとの連携(久松小)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,452	13,554	14,060	15,535	0	
	直接経費 A	6,233	6,235	6,817	8,345	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,470	4,089	2,101	2,217	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,763	2,146	4,716	6,128	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		[KPI]放課後子ども教室設置数	箇所	目標	3	5	5	5	5	
			実績	4	4	5	5	0		
	(指標の説明) 放課後子ども教室の設置されている小学校数(基準値は平成26年度時点)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P223(教023)</p> <p>【事業の概要】 放課後や週末等における地域の子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。地域の様々な資質を有する多くの大人の参画を得て、子どもたちに、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供する。</p> <p>【事業の成果】 (対象)小学生 (児童数)平成29年度 神戸25人、明治28人、東郷28人、米里49人 平成30年度 神戸20人、明治34人、東郷25人、米里37人、久松47人 令和元年度 神戸19人、明治34人、東郷29人、米里44人、久松47人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市では、放課後児童クラブと共に放課後児童対策事業として実施しており、小規模校を中心に開設してきた経過がある。小規模校転入制度を活用して転入している児童(東郷・明治)には開設時間の配慮が必要であり、補助対象外予算を計上しなければならない。また、平成30年度には新たに久松小学校で事業が開始され、放課後児童クラブと連携した子ども教室の開設が進んだ。今後もニーズに応じて児童クラブと連携する子ども教室の開設を検討していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]放課後子ども教室設置数	133%	80%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>現在開設している校区で継続して開設すると共に、子ども教室の開設要望があれば検討する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	中山間地域ふるさと体験活動支援事業費			予算事業コード	01-09-01-03-84-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校及び義務教育学校児童
意図 (どのような状態 にするために)	豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさや人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験を行う。
手段 (どうするのか)	佐治町の民家での農林家暮らし体験を中心としながら、林業体験や和紙づくり体験などの自然体験・文化体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動	①佐治町の農山村及び新市域の農山村での生活体験活動
年度別実績		①市内25校が実施	①市内24校が実施	①市内13校が実施	①市内17校が実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	19,961	19,222	15,403	18,601	0	
	直接経費 A	12,742	11,903	8,160	11,411	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	2,917	1,943	2,588	0
		地方債	12,700	8,900	6,200	8,800	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	42	86	17	23	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	農山村生活体験活動の実施校数	校	目標	25
	(指標の説明) 農山村生活体験活動の実施校数		実績	25	24	13	17	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P221(教020)</p> <p>【事業の概要】 児童が、佐治町の農山村での生活体験を通じて、豊かな人間性や社会性などを育むとともに、ふるさとの自然や文化のすばらしさ、人のあたたかさを心や体に刻み込む原体験となることを期待して実施する。</p> <p>【事業の成果】 佐治町内で小学生が2泊3日、1泊2日の体験活動を行う。 農林家暮らし体験、林業体験、郷土料理づくり体験、魚のつかみどり体験、和紙づくり体験、星空観察、座禅体験、座禅体験、佐治谷話し など 平成29年度 小学校24校 11,903千円 平成30年度 小学校13校 8,160千円 令和元年度 小学校17校 11,411千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 中山間地域の豊かな教育資源を活用した教育実践を支援していくため、今後も計画的に実施していくことが大切である。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	農山村生活体験活動の実施校数	100%	80%	87%	94%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>本市の豊かな地域資源を活用した教育活動を支援していくため、本事業は継続していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域で育む学校支援ボランティア事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度 ~ 令和元年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域で育む学校支援ボランティア事業費		予算事業コード	01-09-01-03-98-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校、中学校、義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	学校と地域が協働しながら、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活の支援を行う。
手段 (どうするのか)	小・中・義務教育学校に配置されたコーディネーターが活動をコーディネートし、地域のボランティアが児童生徒の生活・学習支援や学校の環境整備・安全パトロールなどの活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート ②コーディネーターの配置	平成29年度 ①ボランティアによる学校支援 ②コーディネーターの配置	平成30年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	令和元年度 ①学習・生活支援や環境整備、安全パトロールなどのボランティア活動とそのコーディネート	令和2年度 《令和元年度で事業終了》	
	年度別実績	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加	①・学習生活支援ボランティア ・授業補助 ・読み聞かせ ・登下校の見守り ・環境整備 ②・ボランティアのコーディネート、連絡調整 ・研修会参加		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	15,769	12,629	10,888	9,395	0	
	直接経費 A	8,550	5,310	3,645	2,205	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,550	5,310	3,645	2,205	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実施小・中学校数	校	目標	48	29	20	12	0	
	(指標の説明) 実施小・中学校数				実績	48	29	20	12	0
	2	目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティアによる学校支援 学習・生活支援ボランティア(小学校1～3年生) 授業補助、読み聞かせ、登下校の見守り、環境整備 等 2 コーディネーターの配置 ボランティアのコーディネート、連絡調整、研修会参加 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域と学校の協働による、児童生徒へのきめ細かな指導や安全安心な学校生活が行われるようになった。 2 コーディネーターの配置により、地域が学校に主体的にかかわるようになり、スムーズにボランティア活動が行われるようになった。 <p>【今後の課題・方向性】 地域住民を中心としたボランティア活動は、児童生徒へのきめ細かな対応や、安心・安全な学校生活を実現し、学校への大きな支援につながっている。その活動を長年ボランティアコーディネーターが支えてきた。本市でもコミュニティ・スクールの設置が進み、コーディネーターとしての役割はますます重要となっている。令和2年度からは創造の学校・学園づくり推進事業の中で取り組むこととしている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	実施小・中学校数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業は県の補助事業であり、令和元年度で終了となるが、今後も実情に応じて学校と地域が連携して学校づくりが行えるよう自立と創造の学校・学園づくり推進事業の中で取り組むこととしている。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	001400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	自立と創造の学校づくり推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	自立と創造の学校づくり推進事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	市立小・中・義務教育学校が児童生徒の実態、保護者の願いや期待、地域の特性などを踏まえ、自立し創意工夫ある学校づくりを進展させることにより、教育目標の達成を図る。
手段 (どうするのか)	学校が企画した教育活動及び取組内容に応じて、裁量の予算を拡充し、意欲や工夫・考え方を審査して予算配分する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	①実施計画に基づく予算配分	
年度別実績		①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	①実施計画に基づく予算配分 ・一律支援予算 ・特別支援予算 ・人材活用支援予算	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,350	24,839	25,576	26,834	0	
	直接経費 A	19,131	17,520	18,333	19,644	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	19,131	17,520	18,333	19,644	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	実施学校数	校	目標	62	62	58	58	56
				実績	62	62	58	58
(指標の説明) 計画書に基づいて特色ある取組を実施した小・中・義務教育学校数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P218(教014)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各学校の教育理念や教育方針に基づき、目標達成型の自主的・自律的な学校経営を行うことが求められている。この事業は、そのような学校経営を後押しするために、学校長裁量の予算を拡充し、学校の創意工夫、自主的な取組に関して、各学校が企画立案を行い、教育委員会が評価・査定を行った上で、必要な予算を措置する。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>基本予算による事業 各学校が企画立案を行い、自主的な取組を行うことができた。</p> <p>特別支援予算による事業 特色ある学校づくりのため、学校や地域の実態に応じた取組を地域と連携して行うことができた。</p> <p>平成29年度 17,520千円 平成30年度 18,333千円 令和元年度 19,644千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>本事業により、創意ある教育活動が推進されており、各学校及び地域の実情に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。今後も各学校が自主的・自律的な学校経営を行うことが出来るよう本事業を継続していく。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	実施学校数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>創意ある教育活動が推進されており、各学校及び地域の実情に応じた特色ある学校づくりが進んでいる。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001500	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	学力向上推進事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	魅力と徹底の学力向上推進事業費			予算事業コード	01-09-01-03-52-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小・中・義務教育学校児童生徒
意図 (どのような状態 にするために)	児童生徒個々が確かな学力を身につける。
手段 (どうするのか)	基礎学力の定着と学力の向上に向けた全市的な施策を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別計画	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業	①基礎学力定着支援事業
年度別実績	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託	①基礎学力定着支援事業 ・地域人材を講師とした事業 ・事業委託		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,114	17,133	11,413	12,021	0	
	直接経費 A	9,895	9,814	4,170	4,831	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	9,895	9,814	4,170	4,831	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	回	目標	3100
	(指標の説明) 地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数		実績	2628	2800	2462	2476	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 学力向上推進事業の委託数		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 参加する児童生徒数		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P220(教017)</p> <p>【事業の概要】 本市は全国学力・学習状況調査で良好な状況を維持しているが、個々の児童・生徒の学力の分布状況や課題を分析する中で、基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒もある。地域の人材を活用しながら進める基礎学力定着支援事業により、家庭や地域との連携を図りながら学力向上に努めている。</p> <p>【事業の成果】 地域人材を活用して実施しており、学校と地域の協働が進んだ。 特に、長期休業などで基礎・基本事項の定着が不十分な児童・生徒のみならず、多くの児童・生徒の学力向上や学習習慣の定着に効果が見られた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域人材の確保が難しい地域もある。今後も地域人材を積極的に活用し、学校・保護者・地域が協働した学力向上策を進めたい。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地域の人材(講師)を活用した事業の実施回数	85%	90%	85%	85%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>全国学力・学習状況調査等の結果から、本市の児童生徒の学力の分布状況や課題を分析していく中で、基礎基本の定着が不十分な現状が見られる。放課後や長期休業などを利用し地域の人材も積極的に活用し、基礎基本的な内容の定着を徹底を図っていきたい。同時に、魅力ある授業づくりに取り組み、学力の向上を目指していきたい。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001600	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	未来のとっとり教育創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ～ 全期	
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等		
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成					
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備	
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営	
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計	
予算	予算事業名	未来のとっとり教育創造事業費	放課後児童クラブ数・受入人数	2,321人	3,303人	予算事業コード	01-09-01-03-36-08

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	指定中学校・指定中学校区
意図 (どのような状態にするために)	次代を見据え、広い視野に立って心豊かにたくましく生き抜く子どもを育成するために、研究課題とパイロット校(校区)を指定して教育のあり方を研究実践する。
手段 (どうするのか)	先進実践の取り組みを推進し、広く全市にその成果を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	①先進校視察と研修視察報告会の実施 ②学校運営協議会の実施 ③授業研究会の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,590	9,442	8,337	8,523	0	
	直接経費 A	2,371	2,123	1,094	1,333	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	628	200	162	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,371	1,495	894	1,171	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	校	目標	6
			実績	8	8	10	56	0
	(指標の説明) <<H30にKPI見直し>> コミュニティ・スクール導入校の数							
2	学校運営協議会の実施回数	回	目標	9	20	30	174	168
			実績	18	45	60	179	0
	(指標の説明) 地域創造学校の運営協議会の実施回数							
3	研究授業の実施回数	回	目標	4	4	5	5	5
			実績	5	5	5	4	0
	(指標の説明) ICTの活用、英語教育の研究授業の実施回数							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P219(教016)</p> <p>【事業の概要】 次の3つの研究課題について学校を指定し、組織・教育内容・指導方法について先進的に実践し、各校へ広める。</p> <p>研究課題 保護者・地域とともに歩む魅力ある学校づくり 研究課題 地域との協働による豊かな学びの創出 研究課題 学びや学校生活を支える土台づくり 研究課題 プログラミング教育を取り入れたカリキュラムマネジメント 研究課題 タブレットドリルを活用した学習支援 研究課題 午前授業5時間制先進実践</p> <p>【事業の成果】 保護者や地域の方の参画による学校運営が広がり、コミュニティスクールとして運営する学校が増えている。また、ICTを活用した授業が各教科に広がったり、プログラミング教育に関する関心が高まったりしている。また、魅力ある学校づくりによる学校不適應の解消を推進するなど、パイロット校が先行実施の取り組みを行っている。</p> <p>平成29年度 研究課題 (3中学校区) (19校) (3中学校区) 2,123千円 平成30年度 研究課題 (2中学校区) (3校) (2校) 1,094千円 令和元年度 研究課題 (2中学校区) (4校) (2校) (3校) (2校) 1,333千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 パイロット校を指定して、先駆的に取り組む本事業の内容については、適切に選択しながら充実を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]地域創造学校運営協議会(コミュニティ・スクール)設置校数	133%	133%	167%	97%	
	2	学校運営協議会の実施回数	200%	225%	200%	103%	
	3	研究授業の実施回数	125%	125%	100%	80%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	本市のすべての小・中・義務教育学校で地域創造学校運営協議会の立ち上げが、平成31年の初めには実施される予定であったが、2校で実施することができなかった。令和元年度中に地域との話し合いをすすめ、次年度の立ち上げを目指す。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>パイロット校が先駆的に取り組む事業の授業を公開するなどして、その他の学校にも還元することが出来た。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001700	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特色ある中学校区創造事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の達成	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	外部委託
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	特色ある中学校区創造事業費		予算事業コード	01-09-01-03-36-07	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全中学校区
意図 (どのような状態にするために)	地域や児童生徒の実態に応じて学校・地域・家庭が連携し共通の目標に向かって取組を進める。
手段 (どうするのか)	学校・保護者・地域で構成された推進委員会に委託

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施	①児童生徒交流 ②教職員の共同研究、共通実践 ③中学校区教育フォーラムの実施
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,219	10,949	10,803	10,750	0	
	直接経費 A	4,000	3,630	3,560	3,560	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,000	755	3,560	3,560	0
一般財源	0	2,875	0	0	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	%	目標	90
			実績	90	91	89	88	0
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/小5~6:90%)							
2	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	%	目標	85	85	85	90	90
			実績	88	88	87	88	0
	(指標の説明) 全市共通の4項目アンケート調査の結果(基準値(平成26年度)/中1~3:85%)							
3	中学校区教育フォーラムの開催回数	校区	目標	17	17	17	17	17
			実績	17	17	17	17	0
	(指標の説明) 中学校区で開催する教育フォーラムの回数							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次：当初予算・P219(教015)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>本市では、義務教育9年間を見通した指導を行うことで、学力の向上や学校不適應の解消をめざす「小中一貫教育」を推進している。全中学校区が「めざす子ども像」を設定し推進体制を整えるとともに、合同研修会や児童生徒交流の実施、地域への情報発信等を行い、小・中学校が一体となって小中一貫教育を進めている。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>各中学校区が、地域や児童生徒の実態を踏まえ、特色ある取組を総合的に進め、「めざす子ども像」の実現を図るとともに、地域全体の教育力の向上につなげた。</p> <p>幼保・小・中学校の一貫した取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高め確かな学力を身につける授業改善 ・学校不適應の未然防止につながる魅力ある学校づくり 等 <p>家庭・地域との連携による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣や学習習慣の育成のための啓発活動 ・モラルやマナー・ルールを大切に作る風土(人)づくり 等 <p>地域の特色を生かした取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然や文化、人材を生かした教育活動 ・地域フォーラム、小中合同発表会等の開催 等 <p>平成29年度 3,630千円 平成30年度 3,560千円 令和元年度 3,560千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>各中学校区・義務教育学校で地域や児童生徒の実態を踏まえた教育活動を推進し、学校・地域・家庭が連携し取組を進めていくことができるよう今後は自立と創造の学校・学園づくり推進事業の中で取組を進める。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童の割合(小学校)	100%	101%	99%	93%	
	2	[KPI]「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う生徒の割合(中学校)	104%	104%	102%	98%	
	3	中学校区教育フォーラムの開催回数	100%	100%	100%	100%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>それぞれの小・中・義務教育学校で、児童生徒及び保護者、地域の実態や願いが加味された特色ある教育活動が推進されている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	その他
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域で学ぶ職場体験活動事業費			予算事業コード	01-09-01-03-26-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中学校・義務教育学校生徒
意図 (どのような状態 にするために)	様々な社会体験活動を行う中で地域社会に学び、地域の人々と共に生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」の基礎となる豊かな人間性や自ら課題を見つけて解決していこうとする意欲、態度を身につける。
手段 (どうするのか)	中学校・義務教育学校の特定学年の生徒全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間の体験活動を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	①職場体験活動	
年度別計画							
年度別実績		①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全17中学校(第2学年生徒)	①職場体験活動実施 市内全中学校14校及び 義務教育学校3校(特定学年の全生徒)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,142	9,311	9,210	9,155	0	
	直接経費 A	1,923	1,992	1,967	1,965	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,923	1,992	1,967	1,965	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	生徒アンケートの肯定的な回答率	%	目標	80	80	80	80	80
				実績	93.5	95.1	95.3	93.3
(指標の説明) 体験活動後の生徒アンケートにおける肯定的な回答率								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P218(教013)</p> <p>【事業の概要】 事業は、「鳥取市ワクワクとっとり推進協議会」に委託して実施し、中学校及び義務教育学校の特定学年の生徒全員が数名ずつのグループに分かれ、地域の事業所や施設等で連続する3～5日間を基本とした体験活動を行う。</p> <p>【事業の成果】 中・義務教育学校全17校で実施した。実施後に行った生徒向けアンケート調査では、「将来の生き方の参考になった」という肯定的回答が92%、保護者向けアンケート調査では、「この活動について自分の子どもと話し合った」という家庭が91%という結果となった。 平成29年度 1,649人参加 1,992千円 平成30年度 1,563人参加 1,967千円 令和元年度 1,525人参加 1,965千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業では、地域で生徒を育むという意識の高揚を図るとともに、学校教育の中に保護者や地域の意見を取り入れることにより、めざす子ども像「ふるさと思いをもち子」の育成や地域社会全体で担う学校教育につなげていく。体験活動日数については、学校裁量とし、今後も事業継続していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	生徒アンケートの肯定的な回答率	117%	119%	119%	117%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>中学校・義務教育学校(後期課程)でのキャリア教育の充実や「ふるさと思いをもち子」の育成のため、今後も継続して実施する必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001900	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取市グローバル人材育成事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取市グローバル人材育成事業費		予算事業コード	01-09-01-03-18-04	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	次代を担う本市在住の中学2,3年生および義務教育学校後期課程8,9年生
意図 (どのような状態にするために)	多様な文化・歴史に触れ、人々と交流する機会を提供し、国際的感覚の優れた人材の育成
手段 (どうするのか)	英語圏であるオーストラリアに派遣し、現地学校との交流やホームステイ、文化施設等の訪問プログラムを実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①シンガポールに本市在住中学生を10名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①シンガポールに本市在住中学生を20名派遣	①オーストラリアに本市在住中学生を20名派遣	①英語圏に本市在住中学生を20名派遣
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	13,829	11,468	11,702	11,830	0	
	直接経費 A	9,498	7,077	7,356	7,516	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	8,014	6,968	7,356	7,516	0
一般財源	1,484	109	0	0	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI]実施中学校数	校	目標	3	3	0	0	0
			実績	15	13	0	0	0
(指標の説明) グローバル人材の育成に向けた英語等に特化したモデル校の設置								
2	[KPI]中学生派遣人数	人	目標	10	20	20	20	20
			実績	20	20	20	20	0
(指標の説明) 中学生の海外派遣								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】校区審議室 0857-30-8405</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P212(教001)</p> <p>【事業の概要】 英語圏域であるオーストラリアに市内在住の中学生を派遣し、現地学校との交流やホームステイ、現地大学生との班別研修、文化施設等の訪問などのプログラムを実施し、多様な文化と歴史に触れる短期間(5日間程度)研修を行う。</p> <p>【事業の成果】 53名の応募者から書類審査により20名を選考。4回の事前研修を経て、オーストラリアに派遣。帰国後、報告会を実施し、報告書を作成した。また、各中学校での報告会も行い、事業の成果を周知することができた。 (事業の実績) 平成29年度：7,077千円 平成30年度：7,356千円 令和元年度：7,516千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 より実効性を高める研修とするため、派遣先の検討、派遣中の研修プログラムを工夫することや、事前・事後研修の充実を図ることが必要であると考え。</p> <p>その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。 その他財源の諸収入は、参加者負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	【KPI】実施中学校数	500%	433%			
	2	【KPI】中学生派遣人数	200%	100%	100%	100%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業に参加した中学生は、派遣を通して、言葉・文化・民族が異なってもお互いを尊重しあうことの素晴らしさを学ぶとともに、自国の伝統や文化を尊重することの大切さを学んだ。また、研修の成果を報告し、各校の生徒に学びを広めることができた。引き続き、これからの鳥取を担う子どもたちの成長にとって、さらに実効性の高いものとするために、工夫した取り組みにしていきたいと考える。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	大規模改造事業(小学校)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	大規模改造事業費(小学校)			予算事業コード	01-09-02-03-46-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態 にするために)	施設老朽化対策を実施し、安全面・適切な施設機能面の確保を図る。
手段 (どうするのか)	外壁・トイレ等、各所の劣化施設の改修工事

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務	平成29年度 ①久松小学校校舎改修設計業務 ②福部未来学園校舎改修・増築工事	平成30年度 ①福部未来学園特別教室棟改修工事	令和元年度 ①久松小学校校舎改修工事	令和2年度 ①福部未来学園外構整備工事 ②江山学園実施設計業務	
	年度別実績	①福部未来学園校舎改修・増築実施設計業務	①久松小学校校舎改修設計業務 ②福部未来学園校舎改修・増築工事	①福部未来学園特別教室棟改修工事	①久松小学校校舎改修工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,920	13,415	166,357	307,024	0	
	直接経費 A	13,589	9,024	162,011	302,710	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	9,031	36,275	0
		地方債	12,900	8,500	114,400	176,500	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	689	524	38,580	89,935	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		改修工事実施箇所数	施設	目標	1	1	2	1	1
	(指標の説明)		実績	1	1	2	1	0	
	2	目標	0	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	0	
	3	目標	0	0	0	0	0	0	
実績		0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 1 3 (教 0 0 4) 9月補正・P 2 3 (教 0 0 1)</p> <p>【事業の概要】 老朽化した施設の大規模改修・改築を行う。</p> <p>【事業の成果】 老朽化の著しい久松小学校の改修を行うことにより、安心・安全な教育環境を確保した。 (事業の実績) 平成29年度 9,025千円 久松小学校校舎改修実施設計 平成30年度 162,011千円 福部未来学園特別教室棟改修工事 令和元年度 276,248千円 久松小学校校舎改修工事 26,462千円 江山学園整備工事基本設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 久松小学校の校舎改修工事は完了した。今後は、江山学園の校舎整備工事の着手に向け取り組みを進める。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	改修工事実施箇所数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため予防保全的な施設改修は不可欠であると考えます。

事務事業評価シート

事務事業コード	002200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	不登校対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%		
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%		
予算	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	運営方法	直営
	予算事業名		不登校対策事業費		会計区分	一般会計
					予算事業コード	01-09-01-03-12-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市立小・中・義務教育学校及びその児童生徒
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市立小・中・義務教育学校の児童生徒における学校不適応傾向の解消及び未然防止
手段 (どうするのか)	鳥取市学校不適応対策専門委員会で不適応対策について総括的に討議し、学校不適応の未然防止と課題解消を推進する。特に地域を含めた中学校区の学校の連携を強め、小中の連続性のある不適応対策、児童生徒支援を行っている。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーでの助言指導	①学校不適応対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不適応対策委員会の実施 ③スーパーバイザーの助言指導	①不登校対策専門委員会の開催 ②中学校区・校内不登校対策委員会の実施 ③スーパーバイザーの助言指導
	年度別実績	①学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、市の不適応対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適応対策委員会を実施し、不適応の解消や教職員の力量の向上を図った。	①学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、市の不適応対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適応対策委員会を実施し、不適応の解消や教職員の力量の向上を図った。	①学校不適応対策専門委員会を年3回開催し、市の不適応対策について検討した。②③各中学校区においてスーパーバイザーを招聘し、不適応対策委員会を実施し、不適応の解消や教職員の力量の向上を図った。	①年3回学校不適応対策専門委員会で市の不適応対策について検討した。②各中学校区で連携して不登校対策に取り組んだ。③スーパーバイザーの助言を受け、児童生徒の具体的な支援につなげた。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,674	7,753	7,798	7,307	0	
	直接経費 A	455	434	555	117	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	455	434	555	117	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	学校不適応対策専門委員会の実施回数	回	目標	3	3	3	3	3
				実績	3	3	3	3
(指標の説明) 学校不適応対策専門委員会の実施回数								
2	スーパーバイザーによる助言指導回数	回	目標	17	17	17	17	17
				実績	22	20	19	2
(指標の説明) スーパーバイザーが、学校・中学校区へ助言指導した回数								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】児童生徒支援係 0857-25-3060</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P216(教009)</p> <p>【事業の概要】 不登校をはじめとする学校生活に不安や悩み、困り感を持つ児童生徒は年々増えており、その要因や背景を的確に把握し、学校や関係諸機関とが連携して、組織的、計画的に一人一人の児童生徒に応じた支援を行っていくことが必要になっている。 このため、本市では不登校等の未然防止と個に応じた適切な支援の在り方について、専門機関等と連携して、その対策の強化並びに充実を図ってきている。</p> <p>【事業の成果】 不登校等に関する専門家の活用により、不登校等の児童生徒の適切な支援やその未然防止に係る取組を行う。 学校不適応対策専門委員会を行い、対策事業を推進する。 学校不適応対策専門委員会の委員を各学校等へ派遣し、助言や支援を行う。 平成29年度 3回開催 20回派遣 434千円 平成30年度 3回開催 19回派遣 555千円 令和元年度 3回開催 1回派遣 117千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 不登校の出現率は高い傾向にある。今後は、学校不適応対策専門委員会を「不登校対策専門委員会」とし、不登校対策に特化した取組を進めていく。また、個別の事案に対してスーパーバイザー等の活用を図り、児童生徒への適切な支援につなげていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	学校不適応対策専門委員会の実施回数	100%	100%	100%	100%	
	2	スーパーバイザーによる助言指導回数	129%	118%	112%	12%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	スーパーバイザーの派遣については、各学校で専門家や関係機関を招いて個別の支援を検討できるようになりつつあるため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>不登校対策は未然防止に努めることが重要であるとともに、不登校児童生徒一人ひとりに対して適切な支援策を講じる必要がある。そのためには、本事業の継続・拡充が必要であると考えている。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特別支援教育支援員配置事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成19年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	特別支援教育支援員配置事業費			予算事業コード	01-09-01-03-66-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内全ての小・中・義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学級の円滑な運営と、当該要支援児童生徒の学習活動を支援する。
手段 (どうするのか)	発達障がいなど教育上の特別な支援を要する児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①支援員を配置	平成29年度 ①支援員を配置	平成30年度 ①支援員を配置	令和元年度 ①支援員を配置	令和2年度 ①支援員を配置	
	年度別実績	①支援員を配置 H28年度追加配置:6校、7人	①支援員を配置	①支援員を配置	①支援員を配置		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費の内訳	事業費(A+B)		55,701	84,093	94,108	100,429	0
	直接経費 A		53,535	81,897	91,935	98,272	0
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	53,535	81,897	91,935	98,272	0		
人件費 B		2,166	2,196	2,173	2,157	0	
職員数の内訳	正規職員		0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
	嘱託職員		46.00	59.00	64.00	68.00	0.00
	臨時職員		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	支援員配置校数	単位	校	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		実績						52	56	59	59	57	
	2	(指標の説明)	特別支援教育支援員の配置校数										
		目標							0	0	0	0	0
	3	実績							0	0	0	0	0
		(指標の説明)											

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P220(教018)</p> <p>【事業の概要】 小・中・義務教育学校において特別な支援を必要とする児童生徒への学校生活上の支援及び学習活動の支援等を行うため、支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に、特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>【事業の成果】 特別支援教育支援員を配置することによって、児童生徒一人一人の状況や教育的ニーズに応じた学習指導及び生活指導を担任を補助しながら実施し、該当児童生徒はもとより、学級全体の精神的安定、授業や学級経営の円滑な運営を行うことができた。 平成29年度 59人配置 81,987千円 平成30年度 64人配置 91,935千円 令和元年度 68人配置 98,272千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 各学校の実態に応じた支援員の適正配置を行い、資質向上の観点から支援員対象の研修を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	支援員配置校数	88%	105%	93%	93%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>特別支援教育支援員の配置だけでなく、児童生徒相談員や学校生活適応支援員の配置など総合的に勘案し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援となるよう進めていく。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002400	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公立環境大学運営費交付金事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度～全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	地方独立行政法人法、公立大学法人鳥取環境大学定款
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%		
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%		
実施の目標	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	運営方法	その他
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	環境大学運営費交付金		予算事業コード	01-02-01-07-45-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公立大学法人公立鳥取環境大学
意図 (どのような状態にするために)	公立大学法人公立鳥取環境大学の持続可能な運営を行う。
手段 (どうするのか)	公立大学法人公立鳥取環境大学の毎年の運営費の一部を、鳥取県とともに負担する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①大学運営費交付金 512,689千円 ②施設整備補助金 を含む	①大学運営費交付金 469,532千円 ②施設整備補助金 51,554千円	①大学運営費交付金 472,536千円 ②施設整備補助金 44,209千円	①大学運営費交付金 458,463千円 ②施設整備補助金 40,688千円	①大学運営費交付金 478,800千円 ②施設整備補助金 47,972千円
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	516,730	518,852	517,729	500,458	0	
	直接経費 A	512,399	514,461	513,383	496,144	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	61,612	47,285	43,522	0	0
一般財源	450,787	467,176	469,861	496,144	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	4,314	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	人	目標	216
			実績	258	390	523	649	0
	(指標の説明) 基準値は平成24～26年度の平均。							
2	鳥取環境大学入学者数	人	目標	276	276	276	276	276
			実績	291	320	291	299	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P36(企007)</p> <p>【事業の概要】 新生公立鳥取環境大学運営協議会を通じて大学の経営状態等をチェックし、必要な指示等を行うとともに、地方交付税の範囲内で鳥取県とともに当該大学法人に対する大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付することにより、公立大学法人公立鳥取環境大学の安定的な運営を確保する。</p> <p>【事業の成果】 大学運営費交付金を交付することにより、大学の安定運営を図った。 施設整備費補助金により、以下の施設整備を行った。 ・ガスヒートポンプ・屋上防水改修工事 ・本部講義棟屋上パラペット防水補修工事 ・情報メディアセンター各所改修工事</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">運営費交付金</th> <th style="text-align: center;">施設整備補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">467,176千円</td> <td style="text-align: right;">47,285千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">469,861千円</td> <td style="text-align: right;">43,522千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: right;">458,289千円</td> <td style="text-align: right;">37,855千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 大学の安定的な運営の確保に必要な事業である。大学開設後19年が経過し、施設の大規模修繕の必要性が生じており、年次的に対応していく必要がある。</p>		運営費交付金	施設整備補助金	平成29年度	467,176千円	47,285千円	平成30年度	469,861千円	43,522千円	令和元年度	458,289千円	37,855千円
		運営費交付金	施設整備補助金										
平成29年度	467,176千円	47,285千円											
平成30年度	469,861千円	43,522千円											
令和元年度	458,289千円	37,855千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]鳥取大学・公立鳥取環境大学市内就職者数	119%	120%	121%	120%	
	2	鳥取環境大学入学者数	105%	116%	105%	108%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>大学と連携して、入学者における県内出身者及び県内就職者数を増加させる一層の努力が必要である。また、大学開設後19年が経過し、施設の大規模修繕の可能性が生じており、年次的に対応していく必要がある。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002500	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	看護学生就職支援事業		所属名	健康こども部鳥取市保健所 保健総務課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成25年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	補助金交付
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	看護職員実習指導者養成支援事業費			予算事業コード	01-04-01-01-27-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県東部圏域医療機関等
意図 (どのような状態 にするために)	実習病院の不足解消につなげる。
手段 (どうするのか)	看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関等に受講者の受講期間の基本給の一部を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付	①対象病院等への補助 金交付
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,202	3,040	3,440	1,809	0	
	直接経費 A	2,047	1,869	2,281	659	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,047	1,869	2,281	0	0
一般財源	0	0	0	659	0		
人件費 B	1,155	1,171	1,159	1,150	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.16	0.16	0.16	0.16	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率	%	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	72.9	56.5	50	0
2	対象受講者数	人	目標	15	15	12	12	12
	(指標の説明) 補助金交付対象となる受講者の人数		実績	13	13	13	3	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】総務係 0857-22-5163</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P76(健003)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市では市民の健康を守る上でも現在及び将来にわたっての看護師不足解消のため、新たな看護師養成所の誘致に取り組み、平成27年4月1日、鳥取市医療看護専門学校が開校した。 ・実習指導者養成講習会の受講支援をすることにより、看護師養成所の実習病院の不足解消につなげる。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県等が主催する看護職員実習指導者養成講習会に職員を受講させる医療機関(鳥取県知事が開設するものは除く)に受講者の受講期間(約2か月)の基本給の一部を補助する。 ・受講者1人につき30万円を上限とする。 ・鳥取市単独の補助事業。 ・令和元年度から、鳥取市立病院は繰出金で対応。 <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成29年度実績</td> <td>補助金額</td> <td>1,869千円</td> <td>(補助対象者数</td> <td>13人)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度実績</td> <td>補助金額</td> <td>2,281千円</td> <td>(補助対象者数</td> <td>13人)</td> </tr> <tr> <td>令和元年度実績</td> <td>補助金額</td> <td>659千円</td> <td>(補助対象者数</td> <td>3人)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業を継続する。</p>	平成29年度実績	補助金額	1,869千円	(補助対象者数	13人)	平成30年度実績	補助金額	2,281千円	(補助対象者数	13人)	令和元年度実績	補助金額	659千円	(補助対象者数	3人)
平成29年度実績	補助金額	1,869千円	(補助対象者数	13人)												
平成30年度実績	補助金額	2,281千円	(補助対象者数	13人)												
令和元年度実績	補助金額	659千円	(補助対象者数	3人)												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]鳥取市医療看護専門学校卒業生の市内医療機関等への就職率		104%	81%	71%	
	2	対象受講者数	87%	87%	108%	25%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市外・県外の医療機関等への就職者が増えている

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>看護師等養成所の臨地実習を行う医療機関等の看護職員実習指導者の確保を図り、臨地実習の受け入れ体制の整備に向け、引き続き事業は継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	002600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	校務支援事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ～ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	内部管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%		
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%		
実施の目標	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人	運営方法	外部委託
					会計区分	一般会計
予算	予算事業名	校務支援事業費		予算事業コード	01-09-01-03-25-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小中学校教職員
意図 (どのような状態にするために)	きめ細かな指導を可能とするため必要な情報を共有し、さらに、校務の負担を軽減することで、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。
手段 (どうするのか)	教員が担うべき業務に専念できる環境整備することが求められ、その一つとして「統合型校務支援システムの整備」を市内全小中学校に導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	平成29年度 ①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校で導入する。	平成30年度 ①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	令和元年度 ①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	令和2年度 ①市内全小中学校で、システム導入し、教育の質の向上と学校運営の改善を図る。	
	年度別実績	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムをモデル校8校で導入した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの県内統一の様式を協議検討し、決定した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの県内統一の様式を決定し、システムの運用を開始した。	①グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する校務支援システムの運用		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,292	42,594	19,687	19,305	0	
	直接経費 A	1,073	35,275	12,444	12,115	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,073	35,275	12,444	12,115	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	校務支援システムの全校導入	校	目標	8	60	0	0	0
				実績	8	60	0	0	0
	(指標の説明) 校務支援システムの全校導入								
	2	校務支援システムの運用		目標	0	0	58	58	56
				実績	0	0	58	58	0
	(指標の説明) 校務支援システムの運用								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8412</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・なし</p> <p>【事業の概要】 国は学校現場における業務の適正化に向けて業務改善のためのタスクフォース報告(H28年6月)を示し、各自治体に対し教員が担うべき業務に専念できる環境整備すること求められ、県内統一で整備した校務支援システムの全校展開による事務処理の統一化及び情報共有を進め、教職員等学校関係者が必要な情報を共有し、児童生徒へのきめ細かな指導を可能とする。</p> <p>【事業の成果】 グループウェア、成績管理機能、出席、授業時数管理、保健管理等の機能を有する学校業務支援システムの導入が全県で決まり、平成30年4月から市内全小・中・義務教育学校で稼働中である。</p> <p>【今後の課題・方向性】 校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	校務支援システムの全校導入	100%	100%			
	2	校務支援システムの運用			100%	100%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>校務の負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間や教員同士が相互に授業展開等を吟味し合う時間を増加させ、「教育の質の向上」と「学校運営の改善」を図る。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	002700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校給食食物アレルギー対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校保健給食課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	
予算	予算事業名	学校給食食物アレルギー対策事業費		予算事業コード	01-09-05-03-06-08	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鶏卵と乳を食物アレルギーとする児童生徒(アナフィラキシー既往なし)
意図 (どのような状態にするために)	食物アレルギーを有する児童生徒が、他の生徒と同じように給食時間を安全に、楽しく過ごせる機会を増やし、食育としての学校給食の効果を効果を高めるために実施。
手段 (どうするのか)	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②WG開催 マニュアル見直し・改定	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②学校生活管理指導表導入	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供 ②アナフィラキシー既往歴のある児童生徒に対し、医師により「除去食・代替食を食べさせてよい」と診断された場合、除去食・代替食希望者の対応を行う	①アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	
	年度別実績	①除去食・代替食の提供 24人×3回/月	①除去食・代替食の提供 25人×3回/月 ②WG開催 マニュアルの見直し検討	①除去食・代替食の提供 42人×3回/月 ②学校生活管理指導表導入 検討委員会を開催し、学校生活管理指導表の導入を決定、平成31年度の申込受付から配布を開始	①除去食・代替食の提供 44人×3回/月 ②学校給食マニュアルを改訂し、令和2年度よりアナフィラキシー既往歴のある児童生徒も医師の診断により除去食・代替食希望者の対応を開始		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,604	1,565	1,551	1,648	0	
	直接経費 A	160	101	102	210	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	160	101	102	210	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	%	目標	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	100	0	
	(指標の説明) アレルギー食材を使用した給食数のうち、対象児童に提供した除去食・代替食の割合									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校保健給食課 0857-30-8417</p> <p>【10次総の施策体形】1102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> アレルギー対応が必要な児童生徒の調査の実施、対応食の提供 アレルギー対応に必要な調理業務の委託 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> アレルギー対応給食の提供を行うため、調理業務の委託を実施 検討委員会を開催し、食物アレルギー対応マニュアルを改訂。令和2年度よりアナフィラキシー既往歴のある児童生徒へ医師の診断により除去食・代替食希望者へ対応を開始 <p>平成29年度 101千円 平成30年度 102千円 令和元年度 210千円</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> アレルギー対応給食の実施上の諸課題について、整理・検討を図る アレルギー児童生徒の増加に対応するため、施設・設備面の整備を図る
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	アレルギー原因(卵・乳)食材除去食・代替食の提供	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	3月にマニュアルの改訂に伴い、養護教諭対象に研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、研修会を開催できなかった。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>アレルギー対応給食の実施上の諸課題について整理検討を行う。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032400	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	学校維持補修事業(中学校・大規模)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(中学校・大規模)		予算事業コード	01-09-03-01-07-02	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小中義務教育学校
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	学校生活に支障が生じている施設の改修、予防保全に係る改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 空調設備設置工事(国 府中、江山中、高草中)	平成29年度 ①中ノ郷中空調設備実 施設計業務 ②屋根改修実施設計業 務 ③中ノ郷中屋内運動場 屋根改修工事	平成30年度 ①中ノ郷中・鹿野学園 空調設備工事 ②青谷中学校・鹿野学 園施設防水対策工事	令和元年度 改修など必要となる 施設等についての検討	令和2年度 ①国府中学校受水槽及 び高架水槽修繕	
	年度別実績	空調設備設置工事(国 府中、江山中、高草中)	①中ノ郷中空調設備実 施設計業務 ②屋根改修実施設計業 務 ③中ノ郷中屋内運動場 屋根改修工事	①中ノ郷中・鹿野学園 空調設備工事 ②青谷中学校・鹿野学 園施設防水対策工事	改修など必要となる 施設等について検討を 行った。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	117,745	719	0	
	直接経費 A	0	0	113,399	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	84,700	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	28,699	0	0		
人件費 B	0	0	4,346	719	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.60	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	改修等事業進捗	%	目標	100	100	100	0	100
		実績			100	100	100	0	0
	(指標の説明)								
	2		目標		0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算なし</p> <p>【事業の概要】 経年劣化により機能性・安全性に支障が生じている施設の機能回復を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度に市内中学校3年生教室への空調設備の設置が完了したことから、今後改修などが必要となる施設等について検討を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 安心・安全な教育環境の確保を図るため、改修・予防保全に係る計画的な事業の実施が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	改修等事業進捗	100%	100%	100%		
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>適切な教育環境の確保にあたり、老朽化が進行している施設改修等は不可欠であると考える。</p>		

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：なし</p> <p>【事業の概要】 災害ともいえる猛暑を受け、児童・生徒等の健康被害を及ぼさないよう、小・中・義務教育学校の全普通教室に空調設備を設置する。</p> <p>【事業の成果】 本事業の実施により、児童・生徒の健康管理や学習環境の改善が図られた。 (事業の実績) 平成30年度 公募型プロポーザルの実施 令和元年度 鳥取市立学校空調設備整備事業(1工区、2工区、3工区) 1,889,630千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 他工事と並行して整備を行う予定であった1校について、工事時期の見直しにより未設置となっているが、令和2年度中の早期整備に向けて着実に取り組んでいく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	普通教室空調設備整備事業進捗			100%	98%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	他工事と並行して整備を行う予定であった1校について、工事時期の見直しにより未設置となった。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>児童・生徒の健康管理や学習環境の改善を図るため早期の整備完了を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032600	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	中学校増改築事業		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成29年度 ~ 令和3年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中学校増改築事業費		予算事業コード	01-09-03-03-33-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	南中学校の武道場と校舎（管理・特別棟）
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な施設環境と、生徒数増加に伴う教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	耐震性の無い武道場を改築し安全な施設環境と、既存校舎（管理・特別棟）を改築し生徒増に伴う教育環境の確保を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画		①南中学校武道場実施設計業務 ②南中学校校舎改築基本設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計 ③南中学校校舎解体工事	①南中学校管理棟改修工事 ②南中学校管理・特別教室棟増改築工事	
	年度別実績		①南中学校武道場実施設計業務 ②南中学校校舎改築基本設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計	①南中学校武道場改築工事 ②南中学校校舎改築実施設計 ③南中学校校舎解体工事		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	2,928	157,811	372,040	0	
	直接経費 A	0	0	154,189	367,726	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	8,210	10,937	0
		地方債	0	0	129,300	296,100	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	16,679	60,689	0		
人件費 B	0	2,928	3,622	4,314	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.40	0.50	0.60	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	1	南中学校校舎等改築事業進捗	%	目標	0	100	100	100	100
		実績		0	100	70	100	0	
	(指標の説明)								
	2		目標		0	0	0	0	0
		実績			0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
	実績			0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P214(教006)</p> <p>【事業の概要】 耐震化に伴う武道場の整備に併せ、生徒数増加に対応した校舎の改築工事を実施する。</p> <p>【事業の成果】 武道場整備が完了し、生徒の安心・安全な教育環境の充実が図られた。 (事業の実績) 平成29年度 43,451千円 南中学校武道場改築実施設計業務 平成30年度 154,189千円 南中学校武道場改築工事、校舎増改築実施設計業務 令和元年度 335,317千円 南中学校武道場改築工事、管理・特別教室棟解体工事等</p> <p>【今後の課題・方向性】 生徒数増加に対応するための教育環境の確保に必要な整備を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	南中学校校舎等改築事業進捗		100%	70%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>安心・安全な施設環境を図るとともに、今後の生徒数増加に対応するための教育環境の確保に必要な整備を実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032701	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	学校維持補修事業(小学校・通常)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(小学校・通常)		予算事業コード	01-09-02-01-04-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各小学校
意図 (どのような状態 にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費 、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費 、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費 、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費 、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費 、備品購入費
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	53,090	66,601	72,891	69,216	0	
	直接経費 A	48,759	62,210	68,545	66,340	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	22,877	10,867	10,409	10,381	0
一般財源	25,882	51,343	58,136	55,959	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	2,876	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	トイレ洋式化修繕箇所	校	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	0	19	2	0
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の概要】 各小学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 また、消防用設備のうち耐用年数の経過した消火栓ホース及び消火器を更新することにより、火災等の災害時における屋内消火栓設備機能の信用性を確保する。</p> <p>【事業の成果】 事業実施により、安心・安全かつ快適な教育環境が確保された。 (事業の実績) 消耗品費 : 床ワックス、蛍光灯、校庭の土 ほか 修繕費 : 硝子修理、経年劣化による各種設備の更新 ほか 備品購入費 : 消火器、消火栓ホース</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、適切に施設修繕等を実施することで、建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防いでいく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	トイレ洋式化修繕箇所			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため、施設修繕等は不可欠であると考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032702	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	学校維持補修事業(中学校・通常)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課	

1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	施設管理
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	学校維持補修費(中学校・通常)		予算事業コード	01-09-03-01-07-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	各中学校
意図 (どのような状態にするために)	安心・安全な教育環境の確保を図る。
手段 (どうするのか)	施設の不具合について修繕を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績		①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費	①施設修繕費等 ②施設管理用消耗品費、備品購入費
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	28,347	42,553	29,236	29,131	0	
	直接経費 A	24,016	38,162	24,890	26,255	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	11,548	5,107	5,807	5,459	0
一般財源	12,468	33,055	19,083	20,796	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	2,876	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	トイレ洋式化修繕箇所	校	目標	0
	(指標の説明)		実績	0	0	1	2	0
2	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【事業の概要】 各中学校に日常的に発生する施設の不具合について修繕を行うことによって、安全かつ快適な教育環境を確保する。 また、消防用設備のうち耐用年数の経過した消火栓ホース及び消火器を更新することにより、火災等の災害時における屋内消火栓設備機能の信用性を確保する。</p> <p>【事業の成果】 事業実施により、安心・安全かつ快適な教育環境が確保された。 (事業の実績) 消耗品費 : 床ワックス、蛍光灯、校庭の土 ほか 修繕費 : 硝子修理、経年劣化による各種設備の更新 ほか 備品購入費 : 消火器、消火栓ホース</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、適切に施設修繕等を実施することで、建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防いでいく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	トイレ洋式化修繕箇所			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>建物の老朽化による劣化事故、学習環境の低下等を未然に防ぐため、施設修繕等は不可欠であると考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	032800	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小中学校施設長寿命化事業(仮称)		所属名	教育委員会事務局 教育総務課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 令和4年度
	政策	01	豊かな心をもった、たくましいひとづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	1102	教育の充実・郷土愛の醸成				
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「魅力ある学校づくり」を肯定的に思う児童・生徒の割合		85%	90%	運営方法	直営
	不登校児童・生徒の出現率		3.60%	2.50%	会計区分	一般会計
	放課後児童クラブ数・受入人数		2,321人	3,303人		
予算	予算事業名	大規模改造事業費(中学校)			予算事業コード	01-09-03-03-34-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	湖東中学校校舎
意図 (どのような状態 にするために)	老朽した校舎の耐久性を高め、建物の機能や性能を現在の教育環境に適した水準まで引き上げる。
手段 (どうするのか)	校舎の長寿命化改良工事を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度 ①長寿命化改良設計業 務	令和元年度 ①長寿命化改良設計業 務	令和2年度 ①長寿命化改良工事	
	年度別実績			①長寿命化改良設計業 務	①長寿命化改良設計業 務 ②普通教室空調設備設 置工事の発注		
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
事業費	事業費(A+B)	0	0	12,737	29,956	0	
	直接経費 A	0	0	9,840	28,518	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	8,800	25,600	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,040	2,918	0		
人件費 B	0	0	2,897	1,438	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		長寿命化改良事業進捗率	%	目標	0	0	0.5	0.5	40	
				実績	0	0	0.5	0.5	0	
		(指標の説明)								
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)								
	3			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学校施設係 0857-30-8404</p> <p>【10次総の施策体系】1102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：12月補正予算・P25(教003)</p> <p>【事業の概要】 構造体の耐久性の向上やライフラインの健全化、また、現代の社会的要請に応じた多様な学習内容等による教育環境を確保し施設の長寿命化を図る。</p> <p>【事業の成果】 予算の平準化を図るため、長寿命化事業に含まれる空調設備設置工事を先行して実施する。令和元年度は、本工事に係る施工事業者を決定した。 (事業の実績) 平成30年度 湖東中学校長寿命化改良実施設計業務 9,840千円 令和元年度 鳥取市立湖東中学校普通教室空調設備設置工事に係る入札実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 施工事業者と学校現場との連携・協力のもと、令和2年度夏までの設置完了を目指す。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	長寿命化改良事業進捗率			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>学校施設の維持管理・大規模な改修等には多額の費用が必要となることが想定されることから、学校施設の現状と課題を把握し、総合的な観点からコストの縮減や予算の平準化を図り、事業を進めることが重要である。</p>		